

平成22年第7回教育委員会定例会

【日 時】平成22年6月22日(火)午後1時30分～午後3時30分

【場 所】役場大栄庁舎 第1会議室

【出席者】吉田助三郎委員長・河本恒夫委員長職務代理者・斎尾暁美委員・岩垣教育長・杉川教育総務課長・田中生涯学習課長・阪本指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課係長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 河本委員、斎尾委員を指名

2 行政報告

教育長

・中学校部活動の状況について

5月31日大栄中、6月2日北条中の部活動を巡回し、外部指導者数名と面会、懇談をした。

その中では、「教員が現場にいない実態がある」「仕事があり思った時間には行くことができないが、子どもたちが一生懸命であり、できる限り参加したいと思う」などの意見を伺った。

・6月7日保(園)・幼・小・中学校合同参観日について

多くの参加者があった。特に今回は中学校の部活動も参観できることとした。

大栄小学校では、地域の方に手紙を送り、参観意識の高揚を図る取り組みをし、その結果、参観者が多かった。

・平成22年6月第4回北栄町議会定例会について

6月8日から18日まで行われ、教育委員会関係の一般質問では、

1 津川議員、長谷川議員 給食センターの統合民営化について

2 石丸議員 生涯スポーツについて

3 浜本議員 学校給食の米飯化について

以上3項目について質問があった。

「1」は、民営化と直営実施では、職員の雇用などのこともあり、比較はできないのではないかと。

「2」は、北栄スポーツクラブの育成や体育指導員の活用、広報誌での活動を行っていく。

「3」は、場所の確保ができないことから実施できない。

と回答した。

・中学校保健体育の「武道」について

議会より「武道」の選択を「柔道」としたのはなぜか、との質問があった。

回答は「資料4」のとおり行った。

・学校計画訪問時において質問について

1 生徒派遣補助について

「現在、生徒派遣経費の3分の1補助を全額補助してはどうか。他町では全額補助している」との質問があった。

この質問は、生徒派遣補助について、学校教育の規定に基づく全額補助と社会教育の経費の3分の1の補助制度が混在して考えられていると思われる。隣の町では、宿泊費など全額が補助されているが、北栄町では宿泊費が7,000円ということで、その差をうめてほしい趣旨と考えられる。

この宿泊費7,000円は、全額の実費を補助すれば、際限がなくなり収集がつかなくな

るため、常識的な範囲の支給基準を定めたものである。

2 職員の研修旅費について

「学校教職員の研修に参加する旅費についての考え方を教えてほしい。」との質問があった。教職員の旅費については、県費で予算化し支払われるものであり、学校予算の範囲内で、学校が判断し研修等に出席するものである。

(質問) 生徒派遣補助について、内規があり補助されているものである。補助率の問題で保護者の負担が多いということではないか。

(回答) 競技により目標を持ってやっている。スポーツの競技において、勝って全国大会や中国大会に出場する。しかし、それは、スポーツ競技として行っているものであり、学校教育の範ちゅうではないと考える。だから、該当の定められた制度により補助をしているものである。

(意見) 以前この制度により補助してもらったことがあるが、補助金は登録選手のみで、応援は保護者の負担であった。予算のこともありすべて補助するのはどうかと考える。

(質問) 保護者が実際どれだけ負担しているのか。他の町の状況も把握したい。

(回答) 他町の状況など調査し、次回資料提供したい。

教育総務課長

資料のとおり説明。

(質問) 大栄中学校体育館の雨漏りの状況はどうなっているのか。

(回答) ステージ側の屋根樋が、大雪が降ったりしたときの雪解け水で雨漏りが起こるもの。今回は内樋の防水改修を行う。

(質問) 大栄小学校プールの工事について、落札が100%となっているがどういうことか。

(回答) 専門的な工事であったため設計することができず、見積聴取により最低見積金額を落札価格とし契約したものである。

生涯学習課長

資料のとおり説明。

(質問) スイカ・ながいもマラソンの参加者はどのくらいか。

(回答) 約4,000人で募集を締め切っている。これは、会場のキャパシティからこれ以上となると安全面が確保できない。なお、過去最大では7,000人があった。また、中止の判断は、今週中25日までに行う。これは、大会参加者の旅費等もかかることから配慮するものである。なお、連絡はマスコミを利用し、まず県外参加者に周知する。次は県内者と周知することとなる。

(質問) 参加費は返金するのか。

(回答) 返金はしないが、Tシャツ、みやげ物を送る。

3 議事

議案第27号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

(質問) 不認定者には理由を付して通知するのか。

(回答) 委員会の結果を受けて、各申請者に通知することとなるが、不認定者には不認定の理由を付して通知をすることとする。

原案のとおり承認。

議案第28号 北栄町社会教育委員及び北栄町公民館運営審議会委員の委嘱について

(質問) 公募委員は2名であったのか。

(回答) 公募したが応募はなかった。現委員の2人をお願いしたところ了解をいただいた。

(質問) 学校教育以外の教育分野すべてが対象となるのか。大栄分館も該当するのか。

(回答) 社会教育が対象となるものであり、委員は条例に定めるとおり学校教育及び社会教育関係者、その他学識経験者を選任している。また、大栄分館も社会教育法上の施設であり事務の委託をしているもので、今回の対象施設である。

(質問) スポーツ関係の者も入っていないのではないかな。

(回答) 次回の委嘱時までには検討する。

(質問) 議案資料中の「1」から「8」まではあて職なのか。

(回答) 社会教育法上あて職となってしまう面がある。

(質問) 任期はあってないようなものとなってしまうのではないかな。

(回答) あて職の場合、団体役職の交代で変更となるため、前任者の残任期間を引き継ぐこととなる。

原案のとおり承認。

4 報告

・平成22年第4回北栄町議会定例会について

・給食センター統合に係る大栄学校給食センターでの調理開始について

(質問) 保育所や幼稚園の給食の体制はどうなっているのか。

(回答) 大栄地区は従来どおり各施設で対応している。北条地区は、北条小学校、中学校、北条幼稚園の4歳児・5歳児の給食を大栄学校給食センターで調理・運搬し対応している。それ以外の保育所は各施設で対応している。

(意見) 大栄地区の4歳児・5歳児についても、同じ条件で実施する観点からセンターで供給すべきではないかと思う。

・幼保一元化の方向性について

(質問) 幼保を取り入れる保育所と保育所と分かれることとなるが幼児教育をうける、うけないということがあがるがどうなるのか。

(回答) ほとんど現状のままで幼児教育を取り入れるものであり、今後は選択性とする。

(質問) 人数が少なくても実施するのか。

(回答) 保育と幼児教育のことであり、人数に関係なく実施していく。

(質問) この取組に対する教育としてのかかわりはどうなのか。

(回答) 指導計画の策定、指導助言、行事参加でのかかわりを考えている。平成24年4月実施に向け研修を実施していく。

・北条中学校における「がい児」発言に対する対応について

6 その他

・平成22年度人権・同和教育関係研修会への参加依頼について

・東伯地区教育委員会連絡協議会総会について

・鳥取県教育委員会研究協議会総会・研究大会について

・次回定例教育委員会は、7月27日(火)の予定とする。